

## 第九講 シュメール人の国家論（2）：民主制かデスポティズムか

レポート：ダイメルの古典学説について説明しなさい。

### 原始民主政論

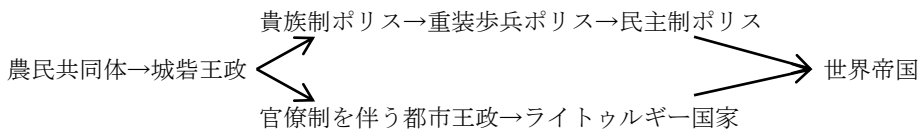
Th. ジェイコブセン

ディアラ川流域を考古調査

英雄時代論と対応：『ギルガメシュ神話』

ギルガメシュ・ウルクの民会

マックス・ウェーバーの古代国家の発展モデルの応用



初期王朝第1期・・・ケンギル同盟（一種のシュメール連邦）

原始民主政：民会

臨時の指導者 en・・・内政面

lúgal・・・軍事面

各都市の指導者 ensí

初期王朝第2～3期

原始王政：危機の恒常化

臨時の役職の恒久化

en 権と lúgal 権の結合

王の神格化

初期王朝第3期末

ケンギル同盟の解体→領域国家の形成

ensí（都市の指導者）が lúgal を名乗る

都市間の覇権争奪

アッカド帝国期

原始帝国・・・カリスマ性に依拠

ウル第3王朝期

官僚制的民族国家

帝国を放棄